

〔別 紙〕

様式 1

## 事業報告書 ✓

(自 令和 2 年 4 月 1 日 至 令和 3 年 3 月 3 1 日)

## 1 医療法人の概要

(1) 名 称 医療法人社団 いそべ整形外科医院 ✓

① ☐ 財団 ☒ 社団 ( ☐ 出資持分なし ☒ 出資持分あり )② ☐ 社会医療法人 ☐ 特別医療法人 ☐ 特定医療法人☐ 出資額限度法人 ☒ その他③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の ☐ を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)

(2) 事務所の所在地 山口県宇部市松山町 1 丁目 8 番 2 3 号

注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。

(3) 設立認可年月日 平成 2 年 1 2 月 1 日

(4) 設立登記年月日 平成 2 年 1 2 月 2 5 日

## 2 事業の概要

(1) 本来業務 (開設する病院、診療所又は介護老人保健施設 (医療法第 4 2 条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の業務)

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
診療所	医療法人社団 いそべ整形外科医院	山口県宇部市松山町 1 丁目 8 番 2 3 号	な し

(2) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和 2 年 5 月 1 日 平成 3 1 年度決算の決定

令和 3 年 3 月 1 3 日 令和 3 年度の事業計画及び収支予算の決定

様式 2

法人名 医療法人社団 いそべ整形外科医院 ✓

※医療法人整理番号

所在地 山口県宇部市松山町1丁目8番23号

財 産 目 録 ✓  
(令和3年 3月31日現在)

1. 資 産 額	146,368 千円 ✓
2. 負 債 額	11,554 千円 ✓
3. 純 資 産 額	134,814 千円 ✓

(内 訳)

(単位：千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	108,129 ✓
B 固 定 資 産	38,239 ✓
C 資 産 合 計 (A+B)	146,368 ✓
D 負 債 合 計	11,554 ✓
E 純 資 産 (C-D)	134,814 ✓

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))  
建 物 (□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

様式 3 - 2

法人名 医療法人社団 いそべ整形外科医院 ✓  
所在地 山口県宇部市松山町1丁目8番23号

※医療法人整理番号 

--	--	--	--	--

貸 借 対 照 表 ✓  
(令和3年 3月 31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	✓ 108,129	I 流 動 負 債	✓ 11,554
II 固 定 資 産	✓ 38,239	II 固 定 負 債	
1 有 形 固 定 資 産	✓ 38,160	(うち医療機関債)	
2 無 形 固 定 資 産	✓ 79	負 債 合 計	✓ 11,554
3 そ の 他 の 資 産		純 資 産 の 部	
(うち保有医療機関債)		科 目	金 額
		I 出 資 金	✓ 9,000
		II 積 立 金	✓ 125,814
		III 評 価 ・ 換 算 差 額 等	
		純 資 産 合 計	✓ 134,814
資 産 合 計	✓ 146,368	負債・純資産合計	✓ 146,368

(注) 経過措置医療法人は、純資産の部の基金の科目の代わりに出資金とするとともに、代替基金の科目を削除すること。

様式 4 - 2

法人名 医療法人社団 いそべ整形外科医院 ✓  
所在地 山口県宇部市松山町 1 丁目 8 番 2 3 号

※医療法人整理番号

損 益 計 算 書 ✓  
(自 令和 2 年 4 月 1 日 至 令和 3 年 3 月 3 1 日)

(単位：千円)

科 目	金 額
I 事業損益	
A 本来業務事業損益	
1 事業収益	97,499 ✓
2 事業費用	92,205 ✓
本来業務事業利益	5,294 ✓
B 附帯業務事業損益	
1 事業収益	
2 事業費用	
附帯業務事業利益	
事業利益	5,294 ✓
II 事業外収益	2,434 ✓
III 事業外費用	
経常利益	7,728 ✓
IV 特別利益	
V 特別損失	
税引前当期純利益	7,728 ✓
法人税等	
当期純利益	7,728 ✓

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。  
2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。